

始良市議会だより

あいあいがさ

6月
定例会
No.64

令和8年8月31日発行



p2 新市政スタート！

p4 請願・陳情

p6 市政を質す

p12 タブレット端末の導入

満開のリウゼツランに喜ぶ人たち



太鼓集団「蒲生郷太鼓坊主」(重富海岸の海開きにて)

新市政スタート!

ポイント①

災害復旧対策は？

龍門滝展望台付近の法面復旧に902万円、災害義援金支給に2,454万円、狩川の被災調査分析と治水対策の業務委託に7,200万円、雨水管理総合計画策定の業務委託に2,800万円、災害時協力井戸の水質検査等の補助に13万円などが計上されました。

浸水対策や河川調査など将来を見据えた予算が計上されており、一日も早い復旧に着手すべきと合意形成しました。

ポイント②

物価高騰対策は？

県の事業継続が確定し、その補助金を活用して認可保育所等への給食費を支援する経費1,178万円が計上されました。

質疑で積算根拠などが問われ、令和7年度の実績に基づくものであることを確認しました。議員間討議では、今後も続く予想される物価高騰に対する生活支援を速やかに実行しようとする、特に子育て世帯の負担軽減策として評価する声が相次ぎました。

ポイント③

政策的な予算は？

不妊治療への補助金を給付する経費500万円が計上され、鹿児島市や霧島市と同様に上限額5万円とすることを確認しました。

「医療的ケア児者を応援する市区町村長ネットワーク」への負担金1万円が計上され、今後、市が積極的に対応する姿勢が確認できました。

トレーニングキャンプの誘致を推進する事業として180万円が計上され、質疑を経て、県内団体への助成も検討することを確認しました。

台湾台中市東区との交流に向けた協議に係る経費154万円が計上。質疑で経緯や事業の目的などを確認しましたが、慎重な審査を行うため、市長を招致して再度協議に入りました。

その中で、附帯決議を付して事業を慎重に見守るべきか、修正による再検討を求めるかを議論しました。最終的に「事業に一定の理解はできるが、具体的な目標や計画が不透明である」ことから、事業経費154万円を削除する修正案が提出され、賛成多数で可決。続いて修正部分を除く原案を全会一致で可決しました。



GOAL 補正予算 成立

減額修正案を可決した後、修正部分を除く原案は全会一致で可決しました。

なお、委員長報告では、国際交流の意義自体を否定するものではなく、公金を投入する以上、その計画には市民が納得し得る「透明性」と「具体性」が不可欠であるということを申し添えています。



追加補正予算

子ども食堂の食材費の補助、市指定ごみ袋の製造に係る経費、豪雨での被災農家への支援としての寄附金を活用する事業が提案され、全会一致で追加の補正予算は可決しました。

補正後の歳入歳出予算総額は、**371億1,757万円**となりました。



補正予算の減額修正で



まず予算審査常任委員会 で審査

新市長就任後、初の本格的な予算編成となる「肉付け予算」の補正額は7億7,604万円を追加し、歳入歳出総額それぞれ370億8,204万円とするものでした。

編成方針は、昨年の大雨災害からの早期復旧・復興に向けた災害対策経費、公共施設の長寿命化及び利便性向上、物価高騰への支援、そして市長が掲げる「開かれたまち、世界とつながるまち」の実現に向けた経費が計上されています。

今回の議会だより「あいあいがさ」では、市民のみなさまに身近に関心も高いと思われる3つのポイント（災害復旧対策／物価高騰対策／市長の政策案件）に絞って審査の過程と結果をご報告します。



本会議



STEP2 委員会審査の結果報告

最終本会議で予算審査常任委員長が審査の経過と結果（台湾台中市東区との交流に向けた協議に係る経費を削除する減額修正）を報告しました。



STEP3 減額修正案 可決

減額修正案は、反対4名、賛成4名の討論が行われ、文字通り賛否両論の議論が展開されました（討論内容は、右記QRコードでご確認ください）。

討論の後、減額修正案は賛成多数で可決しました。



陳情
「竜門児童クラブ」および「小山田保育所」の再建に
関する陳情

◎陳情者／竜門校区コミュニティ協議会
会長 山下 豊和

▼趣旨

竜門児童クラブの施設の老朽化に伴い調査と安全対策を求める。また、小山田保育所について、校区内での存続を求めるとともに、小山田保育所跡地に網掛川の河川改修に合わせ、安全対策を講じたうえで、児童クラブ・保育所・公民館等を統合した複合施設の建設計画を要望する。

▼主な意見

○過疎化が進まないように地域を活性化させたい地域の方の思いは理解できる。
○河川の改修工事が完了した場合、安全な場所となると認識しているが、市としては安全性から河川の近くに保育所を再建する考えはないことが確認できた。

▼結果

不採択／賛成4 反対17



水害を受けた小山田保育所



現在の小山田保育所跡地



現在の竜門児童クラブ
(竜門小学校の敷地内の百周年記念館)

不採択

請願

ゆたかな学びの実現・義務教育費国庫負担制度負担率の拡充、教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の請願

不採択

◎請願者／池川 和昭
◎紹介議員／有川 洋美

▼趣旨

学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働など、多くの課題を抱えており、子どもたちと十分に向き合う時間の確保が困難となっている。この状況を改善するためには、教職員定数の改善が不可欠である。

独自財源により人的措置等を講じる自治体もあるが、自治体間の教育格差を生じさせないためには、国の責任において必要な財源を確保し、子ども達がどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられる環境を整備することが重要である。

教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保したうえで、義務教育費国庫負担率の拡充が実現されるよう、国の関係機関への意見書提出を請願する。

▼審査の経過

請願者から趣旨説明を受けた後、質疑を行いました。

問 複式学級の解消は学校の統廃合を
目指すものか。

答 学校の統廃合を目指すものではなく、教職員定数の改善により複式学級の解消を図る趣旨である。

その後、教育部への質疑、議員間討議及び採決を行い、委員会では不採択と決定しました。
本会議では、委員長から審査結果が報告され、討論を経て採決の結果、不採択となりました。

▼賛成討論 有川 洋美

義務教育費国庫負担制度の充実と教職員定数の改善は、教育の機会均等の確保に不可欠である。

▼結果

不採択／賛成10 反対11

●請願・陳情

市政への要望・意見は、「請願」または「陳情」として提出できます。

請願／紹介議員が必要
陳情／紹介議員は不要

●提出方法

議会事務局へ持参または郵送
提出期限は定例会ごとに設定

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

条例 収入印紙等 購買基金条例 の一部改正

県の証紙条例廃止に伴い、市の条例から「鹿児島県収入証紙」という文言を削除するものです。

▼主な質疑

問 今まで購入された収入証紙は、どうなるのか。

答 使用見込みのない収入証紙は令和8年10月1日から令和13年9月30日まで県へ買戻し申請をすることで還付される。

▼字の区域変更

北山北野地区と木津志東地区のほ場整備の完了に伴い、字の区域を変更するものです。

変更後		変更前 (左に包括される区域)		
大字名	字名	大字名	字名	地番
北山	榎田	北山	長迫	202の4、203の1、204、205、206の1、212の1、214の1
				上記の区域に隣接介在する水路である市有地の全部
	小牟田	北山	小牟田	144の2の一部
			北野	宇北野65、67、68の1及び宇小牟田144の2に隣接する水路である市有地の全部
木津志	園田	木津志	榎田	宇小牟田144の2に隣接介在する水路である市有地の一部
			樋ノ口	3350、3353の1、3355の1

人事 新しい委員を 承認

【監査委員】(任期4年)

川崎 栄 寿氏

【農業委員会委員】

(任期 令和8年6月17日から令和11年3月22日まで)

扇 園 弘 行氏

6月定例会ではこんなことが決まりました!



賛否一覧表

(○…賛成 ×…反対 一…欠席 ※議長 新福 愛子は表決に参加しない。)

議 案 名	末吉 孝行	小田原 優	萩原 哲郎	有川 洋美	外園 正剛	馬場 修二	岩下 陽太郎	小山田 邦弘	谷口 義文	宇都陽 一郎	谷山 弥生	竹下 日出志	峯下 貴裕	山下 暢志	桃木 野幸一	原口 洋明	益森 隆史	出水 田麻希	馬場 広幸	森川 和美	岸園 克己	賛 成	反 対
始良市収入印紙等購買基金条例の一部を改正する条例の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
令和8年度始良市一般会計補正予算(第1号)(減額修正)	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	12	9
令和8年度始良市一般会計補正予算(第1号)(減額修正除く)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
字の区域を変更する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
始良市監査委員の選任について議会の同意を求める件	無記名投票																					21	0
始良市農業委員会委員の任命について議会の同意を求める件																						21	0
令和8年度始良市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0
ゆたかな学びの実現・義務教育費国庫負担制度負担率の拡充、教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の請願について	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	10	11
「竜門児童クラブ」および「小山田保育所」の再建に関する陳情書	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	4	17

人が市政を質す!

QRコードを読み取ることで、一般質問の録画中継をご覧いただけます。

あいさ敬愛会



岩下 陽太郎



「稼げるまち」への進化、 具体策は

問 市長が所信表明で、ベッドタウンからの脱却や人口減少対策として、市民のウェルビーイングの関心の高まりを受けて、各種施策を検討されているが、具体的な内容は何か。

答 始良市が目指すべき「ウェルネス」の実現に向けた、新しい産業創出の方向性を示したもので、現在管理職と方針を共有し、庁内各部署で施策の検討を開始した段階である。



現在の市の指針となっている
「第2次総合計画」

今後は協議を重ね、第3次総合計画に反映させる。12月の第4回定例会での「基本構想」議案を上程する際、具体的な施策や事業等を「基本計画案」で提示する。

その他の質問

○子どもたちの未来を拓く教育
○行財政改革

公明党始良市議団



竹下 日出志



高齢者の社会参加への 支援

問 補聴器購入費の助成と、聞こえにくさのある方への支援として窓口で軟骨伝導イヤホンを導入できないか。

答 補聴器購入費の助成は、持続可能で本市にふさわしい制度を検討する。軟骨伝導イヤホンは、本年3月から地域包括支援センターで1機購入し、主に相談員や介護支援専門員が訪問先で支援が必要な方に利用していただいている。今後も、窓口や訪問での実情を踏まえ、支援を必要とされる方に即した対応を継続していく。

「始良の煮しめ」全国へ 発信を

問 「健康食の聖地・始良」を目指し、「煮しめグランプリ」作品の商品化と全国発信の考えは。

答 昨年3月、文化庁の「伝統の100年フード部門」に「始良の煮しめ」が認定された。今後、SNS等による情報発信や、冷凍食品などの商品開発に向けて必要な支援に取り組む。

その他の質問

○災害からの復旧と復興
○子どもたちの未来を拓く教育



小さな声でも聞き取れるようになる
イヤホン

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。
掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。

会派の代表4人及び議員16人

みらい始良



小山田 邦弘



市長の所信と市政運営

市の将来像を示せ。

ウエルネスに基づく将来像

は、

①子どもたちが健やかに育ち、

若い世代が挑戦でき、高齢者

や多様な文化を持つ人々が安

心して暮らし、互いにその人

らしさを認め合いながら共に

過ごせるまち。

②市民一人一人が主役となり、

「このまちに暮らしてよかつ

た」と心から思えるまち。

③ウエルネス関連の成長分野に

おいて無限の可能性を秘めた

まち。

④健康を育む取り組みが企業を

活気づけ、地域経済を動かす

「健康と経済の好循環」が実

現するまちである。

対話を重視する政治姿勢を
具体的に示せ。

問

答 市政を進めるうえで最も大

切にしたいことは、行政が一方

的に決めるのではなく市民と十

分に意見を交わしながら、共に

より良い方向に進めていくこと

である。そのため、市長室を広

く開放しできるだけ面会し、直

接話を伺うようにしている。

また、各種団体との意見交換

やタウンミーティングなどによ

る市民との対話のあり方を検討

しており、その一環としてまず

は今定例会終了後から各校区コ

ミュニティ協議会を巡回し、

「市長と語る会」を開催する。



柁城校区での市長と語る会の様子

市政クラブ始輝



宇都陽一郎



防災道の駅

災害に強いまちづくりの一

環として、検討するところだがこ

の考えを問う。

答 防災機能を備えた「防災道

の駅」は、平時には農産物の販

売のほか地域活性化や交流の拠

点として、災害時には救援物資

の集積・輸送拠点や応援部隊の

活動拠点として、地域防災力の

向上に大きな役割を果たす施設

である。今後、市民の安全・安

心の確保と地域活性化の両立を

図る観点から調査・研究する。



防災道の駅のイメージ

全天候型市民プール

市民プールと学校プールを

関連付ける考えはないか。

答 学校プールは、これまで通

り教育委員会で検討する。

市民からも要望のある市民プ

ールは、施設の在り方や財政面

など総合的に検討する。



全天候型プールのイメージ



あいら行政倶楽部
萩原 哲郎



始良市の駅舎

問 市内の5駅が無人駅になったため、定期券・新幹線切符などの購入が霧島・鹿児島市まで行くことになった。地元で購入できる方法はないか。

答 定期券は、加治木駅・重富駅で購入可能。新幹線切符は、重富駅で購入可能。なお、新幹線切符はネット予約が基本となっており、ネット予約後にクレジットカードまたはコンビニ払いが可能である。



定期券は加治木駅・重富駅で購入可能。
新幹線切符は、重富駅で購入可能。

道路改善対策と整備計画

問 始良ニュータウンは造成以来47年経過しており、道路に傷みが酷い箇所が多く見られる。傷みが酷い所から整備できないか。

答 傷みの酷い路線や交通量の多い路線から整備していく予定である。

問 桜島スマートインターチェンジ上り方面のアクセス道路の整備計画は。

答 現時点において整備計画を、お示しできる段階には至っていない。

その他の質問

○白銀坂トイレ設置・市内観光対策
○西始良小学校児童対策



みらい始良
益森 隆史



被災農地

問 国の激甚災害に指定された対象件数と金額は。

答 対象件数については、水田68件、畑1件の合計69件で、災害査定決定金額は1億1645万9000円である。

問 農地のために使って欲しいと、民間企業などから1500万円の寄附をいただいているが、どのように活用する考えか。

答 本年度、農作物の作付けが不可能となった農地を対象に見舞金を給付する計画であり、本定例会会期中に追加の補正予算を提出する予定である。

その他の質問

○公共施設の在り方
○子どもが関わる様々な環境



あいら敬愛会
岸園 克己



危機管理・消防行政

問 「逃げ遅れゼロ、取り残しゼロの防災体制」の施策内容は。

答 市民の尊い命を守ることを最優先に、迅速でわかりやすい情報を発信し、「空振り」を恐れず、早めに避難する」という意識の醸成と、官民連携の「共创の防災力」を高め、地域全体で支え合う防災体制の構築を推進する。

農業振興

問 物価高騰を踏まえた農業生産者に対する支援策は。

答 国や県の交付金や補助事業を活用して、農業生産の基盤強化及び農業経営の安定化と生産拡大の施策の推進と併せて、市独自の補助事業で作業の効率化と経営の安定化に向けた取り組みを行っている。

その他の質問

○原子力防災
○オーガニック給食



みらい始良
峯下 貴裕



始良市の将来展望

問 ふるさと納税返礼品提供事業者である、水迫畜産による牛肉の産地・品種の不適正表示問題への対応は。

答 本市の返礼品においても、令和5年1月から同年10月までにかけて発送された一部牛肉製品に不適正表示があったことが確認された。対象寄附者への対応としては、メール等で経緯と補償内容を送付し個人情報提供について個別に同意を得ることにしている。

再発防止策としては全ての返礼品提供事業者に『法令遵守に関する誓約書』の毎年度提出を義務付けるとともに県との連携を強化し、ふるさと納税制度への信頼回復に努めていく。

問 市長が温めている新しいプロジェクト構想はあるか。

答 ウェルネスの実現に向けて、まず『市役所から変わる』ことから始めたいと考えている。構想段階ではあるが、市内の店舗や関係団体等と連携し、有機野菜やオーガニック弁当の販売、カフェ、健康講座、健康測定などを行うことで、市役所を『ウェルネスとの交流の入口』とし、官民連携によるウェルネスな空間づくりに繋げていきたいと考えている。

『健康と経済の好循環』の実現に向け、市役所からまちの空気を変えていく取り組みを進めていく。

その他の質問

○ふるさと納税の新たな戦略や構想
○企業誘致を目指す方向性



みらい 始良
外園 正剛



行政DXで市民サービス向上

問 行政デジタル化の成果と、A-Iを活用した今後の行政運営の方向性は。

答 オンライン申請やA-I・RPAの導入により年間2182時間の業務時間を削減した。今後も生成A-Iなどの活用を進め、業務効率化と市民サービスの向上に取り組む。

未来を育む教育環境

問 学力や地域学習、ICT教育の現状と、高校卒業後の進路・定着状況は。

答 全国学力調査では小・中学校とも全国・県平均をおおむね上回った。地域学習やICT教育を推進している一方、高校卒業後は県外への進学・就職も多く、市内定着が課題である。



出水田 麻希



待機児童等解消のための保育士確保策

問 保育士として就労予定の保護者の子どもを利用調整で加算・優先する制度を明文化し、保育士不足と保留児童対策につなげては。

答 現在も国の考え方に基づき、運用上の配慮により優先選考している。先進地を参考に、加算・優先制度の導入と明文化を検討する。

教材の公費化で負担軽減

問 算数セット、彫刻刀、裁縫セット等の購入実態を全校調査し、学校備品化や貸与、再利用、公費負担を進めては。

答 文科省通知を踏まえ全校調査を実施する。一部学校では彫刻刀等を学校予算で購入している。他自治体の事例も調べ、さらなる保護者負担軽減を検討する。

その他の質問

○学校トイレの洋式化



谷山 弥生



物価高に直面する市民生活や中小業者へ迅速な支援

問 中東情勢等の影響下、市内の中小業者や市民への支援拡充の計画を問う。

答 これまでもプレミアム商品券の発行や各種事業者への支援を行ってきたが、さらに追加の臨時交付金等を活用して早急に対策を講じる。

多様な学びへの支援体制

問 不登校問題の認識と実態把握、その支援状況について問う。またICTを活用した授業やデジタル教材活用の進捗状況は。

答 増加傾向にある不登校は様々な要因が起因するものとして認識している。デジタル機器の活用においても、児童生徒が学びやすい環境づくりに努めていく。なお、民間フリースクール等への通塾などに係る経済的支援は行っていない。



その他の質問

○生活保護世帯の追加給付スケジュールに関して

○高齢者向け補聴器購入補助制度の創設



馬場 広幸



災害からの復旧・復興

問 龍門滝温泉の早期再開は。

答 現在、施設全体の詳細な調査が終了し、復旧に必要な設計作業を行っているところである。今後の方向性については、設計結果などを踏まえ、総合的に判断する。



龍門滝温泉

問 錦江橋周辺の商業者への支援は。

答 錦江橋は令和13年5月の完成を見込んでいる。長期間不便となることから、地域のにぎわい創出や誘客促進など効果的な地域振興策を検討していく。



災害現場(錦江橋)

その他の質問

○災害復旧と2040年問題を見据えた財政健全化



山下 暢志



始良市防災重点ため池

問 始良市には重点ため池が16か所あるが、改良改修の状況はどうなっているか。また、ため池の決壊が生じた際に浸水する可能性のある避難所はどれくらい存在しているのか。

答 測量設計が完了し改良改修に着手するため池は1か所、測量設計が完了し改良改修待ちのため池は1か所、本年度、測量改修が完了する予定のため池が4か所となっている。残りのため池も計画的に進めていく。ため池の決壊が生じた際には浸水の恐れのある避難所は開設せず、市や自治会で声掛けを行い、周知を図っていく。

問 ため池の管理の現状と防災ダムとしての考えを寄せ。

答 簡易な修繕は土地改良区または水利組合等が行い、大規模な修繕などには県や土地改良事業団体連合会の協力をもらいながら、本市で対応をしている。防災ダムの考えについてはそれぞれのため池でどのような対応が可能か引き続き調査・研究していく。



重点ため池



あいらい敬愛会
馬場 修二



市営住宅運営

問 駐車場使用料や共益費を家賃に含めて徴収できないか。

答 滞納徴収や新たな徴収にかかるシステム改修の費用が必要になる等の課題があるため、課題解決に向けて調査・研究していく。

地域運営

問 人口減少を想定しての計画は検討されているか。

答 「第3期始良市総合戦略」を策定し持続可能なまちづくりを推進している。

問 地域活性化をどのように展開していく考えか。

答 自助・共助・公助に基づく「協働」の仕組みが重要で、自治会・企業・NPO・学校・PTAなど地域で広く連携する校区コミュニティ協議会で主体的に企画・提案する事業に対して市が支援することにより地域活性化につなげている。

その他の質問

○コミュニティスクール導入



あいらい敬愛会
原口 洋明



空家・空地等の解消

問 空家等管理活用支援法人の指定や条例を制定する考えはあるか。

答 空家等管理活用支援法人の指定については、他自治体の先進事例を調査・研究したうえで、令和9年度中の指定基準検討と指定を目指す。

ふるさと移住定住促進補助金

問 本事業による移住実績（件数・人数）及び各対象地域への人口分散効果を示せ。

答 平成29年度から令和7年度までに56世帯178人が移住されている。山田小学校区に19世帯63人、竜門小学校区に13世帯47人、漆小学校区に8世帯26人の実績がある。特に小学生以下の児童では、山田小学校に24人、竜門小学校に21人、漆小学校に11人など、小学校及び地域の維持や活性化に寄与している。

今後、定住者の定着率や地域活動への参加状況等を調査し、より詳細な効果検証を行っていく。



みらい始良
末吉 孝行



子どもの歯の健康を守る取り組み

問 フッ化物洗口は、子どものむし歯予防に効果があるとされているが、小・中学校で実施していない理由は何か。また、今後の口腔保健施策の方向性は。

答 フッ化物洗口の効果は認識している一方、むし歯のない児童生徒の割合が県の目標値を上回っていることや、教職員の負担、薬剤の保管・調剤、財政面などの課題から、小・中学校では実施していない。

今後も歯科保健指導や定期歯科検診などの取り組みを継続するとともに、保護者の要望や学校で実施できる体制なども踏まえながら対応していく。

その他の質問

○加齢性難聴への支援

○介護人材確保と「えーど」の活用



有川 洋美



高齢者支援

問 身寄りのない高齢者や単身高齢者への支援について問う。

答 民生委員による見守り活動、成年後見制度、エンディングノート等がある。死後事務については「身寄りがない方への支援の在り方ガイドライン」を作成している。

令和7年8月豪雨災害民間アパート避難者への支援

問 令和7年第4回定例会一般質問にて「内閣府と協議をすすめている」と答弁したが進捗状況を問う。

答 災害救助法による賃貸型仮設住宅として措置するよう県と協議を続けている。県は事業要綱案を作成し、内閣府に事業認可依頼をしている。本市としても、引き続き、国及び県に対して働きかけを行っていく。

本庁2号館横「市営駐車場」

問 土日利用に限って無償化する考えはないか。

答 整備費や管理経費の財源確保のため、現在のところ考えていない。



市政クラブ 始輝
桃木野幸一



所信表明にある「更に誇れるまち」とは「更に誇れるまち」とは

問 所信表明で市長は「更に誇れるまち」を目指すとして述べているがどのようなまちか。

答 市民一人一人が「このまちに暮らしてよかった」「これからも住み続けたい」「次世代にも引き継いでいきたい」と心から感じることをできるまちである。また、対話を重ね共に未来を創りあげていく「協働のまち」であることも重要と考える。

山野踏切

問 道路・踏切の拡幅をすべきではないか。

答 市道との高低差、距離、幅員等の地形条件や踏切の構造上の制約など、平面交差での拡幅は困難であると考える。今後JR九州と整備の可能性等を調整しつつ、調査・研究していく。



山野踏切

その他の質問

- 台湾・台中市東区との交流促進
- 案内看板の設置
- 龍門滝温泉の整備



あい行政倶楽部
森川 和美



重富漁港の沖防波堤・係留船・堆積砂の撤去

問 重富漁港の入口には、高波を防ぐ沖防波堤が無いため、強風時は港が荒れて漁船を陸に避難させている現状だが、漁港の安全確保に向けた沖防波堤整備の考えを示せ。

答 沖防波堤の設置を含む漁港施設機能強化の改修計画は関係機関等と協議のうえ、沖防波堤基本計画の策定に努めていく。

問 漁港の係留施設でない場所にプレジャーボートが係留している理由を示せ。

答 漁港に漁船以外の船が係留している理由は詳細が不明のため、今後調査・確認を行う。

問 漁港の入口に砂が堆積し、漁船の出入りに支障をきたしているが、浚渫工事の見通しを示せ。

答 本年度中に航路堆積土の測量設計を実施し、早ければ来年度の浚渫工事を計画している。

その他の質問

- 一医療法人の建て替え補助、支援
- 防災対策

おこわり

第2回定例会で一般質問をされました、小田原優議員につきましては、本人からの申し出により掲載しておりません。



「改革」進む始良市議会

社会全体のデジタル化が進行する中、地方行政のデジタル化も急速に進んでいます。始良市議会においても、デジタル化は議会機能の強化や、より効率的で透明性の高い運営を実現する鍵としており、「始良市議会デジタル化行動計画」に則り、デジタル化による改革を進めています。

中でも、今年度はまず「タブレットの導入」に着手し、12月定例会からは「完全ペーパーレス化」を実現すべく、一丸となって「改革」を進めています。

改革 タブレット端末の導入

全国の地方議会の約7割が既にタブレットを導入しており、始良市議会ではこの6月定例会から導入しました。

各種資料の閲覧や検索が容易になるばかりでなく、過去の議案や類似議案の検索を可能にし、議案の理解をより深化させることができます。

また、他自治体や市民とのオンライン形式での会合も容易となり、既に試験的な取組も始めています。



改革 議会ペーパーレス完全移行の推進

始良市議会では、令和8年12月定例会から「完全ペーパーレス化(本稼働)」を目指しています。

これは単なる「紙の削減」ではなく、デジタル化によって生み出される時間や予算等のリソースを、政策立案や市民との対話へ再分配し、議会の機能を最大化させることを目的としています。

また、勘や経験だけでなくデータを活用した「科学的根拠に基づく政策立案(EBPM)」の研修も年度内に計画しています。



傍聴席へどうぞ

●場所／始良庁舎2号館 3階議事堂

●車いす席もあります。

議会日程や議会中継は、市ホームページでご覧いただけます。



表紙は松原地区にある病院の駐車場にて。リュウゼツラン(竜舌蘭)は、30年～50年に1度だけ花を咲かせるメキシコ原産の大型植物です。

編集後記

議員として初めて『議会だより』の編集に携わり、紙面づくりの楽しさを実感しています。限られた紙面の中で、市議会での議論や取組をわかりやすくお伝えできるよう、委員一同でアイデアを出し合いながら作成しました。

この一冊を通して、市議会をより身近に感じていただければ幸いです。



谷山 弥生

編集・発行責任者

議長 長 新 福 愛 子

広報広聴常任委員会

委員長 小山田 弥生
副委員長 谷山 弥生
委員 山田 弥生
委員 山田 弥生

山田 弥生
山田 弥生
山田 弥生
山田 弥生
山田 弥生
山田 弥生
山田 弥生
山田 弥生
山田 弥生
山田 弥生